大見新村プロジェクト野外展覧会｜BIG EYE

松延総司「ねじれたネイチャー」
SOSHI MATSUNOBE “TWISTED NATURE”

会期： 2020年 8月29日 - 9月27日 | 場所：京都市左京区大原大見町内

大見新村プロジェクト

京都市内から車で１時間、滋賀県と京都府の県境の、鯖街道沿いの小さな村「大見」。1973年の集団離村から40年を経て「無住集落」となって久しい。2012年より、今だからこそ可能な都市と里山の関係を見出すプロジェクトとして、有志によって「大見新村」が開始される。メンバーの多くが都市の暮らししか知らない状況の中、大見という場所からさまざまな経験を引き出し、数百年にわたって続いてきた環境をこれまでとは異なる仕組みで持続させようと試みている。

BIG EYE

大見新村プロジェクトは、大見というフィールドを展示空間とみなした新たな野外ギャラリー「BIG EYE」をスタートさせます。大見村では、里山と言う人為的に作り出された自然環境が、無人化によって再び自然の中に戻りつつあります。改変された自然と、自然に浸食される人工物が鬩ぎ合うこの場所を野外展示のための空間として位置付け、展覧会を通してこうした自然と人工物、人と動物の関

【会期中イベント】

8月29日（金） 12:00 -
オープニングパーティー
9月19~20日
大見新村プロジェクトニューまつり

※会期日は12:00と14:00から、作品と大見村をめぐるツアーを行います。

会期： 2020年 8月29日 - 9月27日　※会期中土日のみ、11:00 - 16:00
場所：京都府京都市左京区大原大見町
参加費：500円（小学生以下無料）
主催：大見新村プロジェクト
※京都市文化芸術緊急奨励金の支援を受けて実施しています

【来場について】
新型コロナウイルス対策と、私有地を含む展示会場のため、事前予約制となります。来場者の人数、お名前、連絡先（電話もしくはメール）、観覧日、来場方法を明記の上**newoomi@gmail.com**までご連絡ください。

ねじれたネイチャーについて（松延総司）

私は今、熊本県人吉市でこのテキストを書いている。7月4日に発生した熊本県豪雨で私の実家は180cmの高さまで浸水した。普通に暮らしていれば、市内中心を流れる川の水が家の天井にまで上がってくることなど、到底信じられない出来事であった。

「ねじれたネイチャー」という展覧会タイトルは、大見村の自然環境に由来している。集団離村を経て、人工物と自然が溶け合ってしまったような、不自然な自然が大見村にはある。しかし、同時にこのタイトルは、既にねじれてしまった現在の地球環境についても表している。近年頻繁に発生する大型台風は、大見村においてもその地形を変形させるほど猛威を振るっている。村に数年間通う中で気づくのは、平和で変わらない里山の風景などではない。激しく移り変わる環境の中で、人工物と自然はますます複雑に混じり合っている。

「新しい生活様式」同様、私たちの自然に対する認識と関わり方は、もはや変化せざるを得ないだろう。そのような中で、私たちと自然をもう一度結びつける関係性＝「ポジティブなねじれ」を見つけることが、この展覧会における私の使命だと考えている。

作家プロフィール：松延総司｜Soshi Matsunobe
1988年熊本県生まれ、2008年京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業。滋賀県在住。
ねじった輪ゴムや手作りの石、アナログとデジタルを混合させたドローイングなどを通して、「無意識」「影」「地」などと呼ばれる抽象的な概念をコンセプチュアルに捉え直す作品を制作している。近年の個展に、「Soshi Matsunobe」（Goya curtain、東京、2020）「See the Shades」（HAGIWARA PROJECTS、東京、2019）、「ねじれたライブラリールーム」（熊本市現代美術館、2018）。グループ展に、「京都新鋭選抜展」（京都文化博物館、2020）、玉山拓郎・松延総司「FLASH MATTER」（Gallery PARC、京都、2019）、「ONLY CONNECT OSAKA」（クリエイティブセンター大阪、2019）などがある。

お問い合わせ先：newoomi@gmail.com（川勝）まで